

## リザーバーより治療をおこなっている方へ

この治療法は『日常生活、動作に支障が少ない』ことを目指しています。  
いくつか気をつけていただきたい事があります。  
以下のことをご理解していただき、快適に治療生活をお過ごしてください。

### こんな時どうする？

#### ① チューブの接続部から薬液がもれたり、はずれた場合

ゆるんでいる場合は、しめなおしてください。それでも漏れる時や写真のように完全にはずれた場合は、チューブはつなげずに、接続部をアルコール消毒し、ヘパリンを注入して針を抜いてください。



#### ② ポンプの液が予定通りに減らない

白いクリップが閉じたままになっていないか、チューブが途中で折れ曲がっていないか確認してください。また時々ポンプの黒い線が動いているか気をつけて見てください。



#### ③ ヘパリンが注入できない

針が浮いている可能性があります。リザーバー側の手のひらを上にした状態で、片方の手で針の部分を手軽く押さえてください。また一日数回上記を行うことで、針が抜けてくることを予防することができます。それでもヘパリンが注入できない時は、注射器を無理に押さずに、白いクリップを閉じ来院してヘパリン処置を行ってもらってください。



### ★ ★ ★ ★ 連絡が必要な場合 ★ ★ ★ ★

- ① リザーバー留置部が痛い、腫れたり赤くなっている
- ② リザーバー留置側の手が腫れた、しびれる、手が冷たい
- ③ 目が見えにくい、しゃべりにくいなど普段と違う



### \*\*\* リザーバー治療中でも入浴できます (前腕、上腕留置) \*\*\*

食材用のラップやアームバンドを用いて、穿刺部が濡れないようにします。アームバンドの中にポンプも入れると良いでしょう。



# 自己抜針手順

## ① 石けんを使い流水できれいに手を洗ってください



## ② 必要物品の準備をします

- ・カットバン
- ・ヘパリン
- ・アルコール綿



## ③ ヘパリンを注入しましょう



注射器を上に向け空気を抜きましょう。



白いクリップを止めましょう。



ヘパリンを接続します。



白いクリップを開きヘパリンを注入します。



ヘパリンを8ml注入したら、注入しながら白いクリップを止めましょう。

## ④ 針を抜きましょう



テープをはがします。



針の翼をガーゼごと持ちます。



針の入っている部分を押さえてもらい、針はまっすぐ真上に抜きます。



アルコール綿で消毒しカットバンを貼りましょう。夜にはカットバンをはがしましょう。

## ⑤ 後始末

抜いた針は危険ですので、タッパーなどきちんとふたの閉まる容器に入れ、次回来院時お持ち下さい。使用したポンプ、注射器もビニール袋などに入れ一緒にお持ちください。医療廃棄物として処分いたします。



連絡先	高知県・高知市病院企業団立	平日8:00~17:15	外来ケアルーム
	高知医療センター	夜間・土・日・祝日	救急外来
	TEL:088-837-3000 (代表)		※連絡時は「リザーバーから治療中」であることをお知らせください!